

令和5年度
静岡県西部・中東遠地域大規模氾濫減災協議会
遠州流域治水協議会

民間企業との連携による取組事例

流域治水の実践・深化 ～民間企業と連携した防災啓発～

近年の気候変動の影響に伴う水災害の激甚化・頻発化から、流域住民の命を守り、被害を減少させることを目的に、(株)静岡新聞社、静岡放送(株)と連携して、防災意識の向上や普及啓発の取り組みを実施しています。

新聞紙面を活用した防災啓発



流域治水の実現へ
企業と連携

命を守る
避難手段の有効

「セニアカー」避難手段に有効

防災情報を確認して出水期に備えよう。



危険度	避難情報	保存版
5	緊急安全の確保	命の危険 直ちに安全確保
4	避難指示	危険な場所から 全員避難
3	高齢者等 避難	危険な場所から 高齢者等は避難

↑令和5年5月28日
※静岡新聞社提供

←令和6年2月24日
静岡新聞社提供

ラジオを活用した防災啓発



出演番組「上田朋子のGoing My West」
5.19(金) 11:40~11:50

- ・防災情報の入手方法
- ・防災情報の種類
- ・キキクルや川の防災情報について

新聞紙面で防災情報の入手方法や取るべき行動、自治体が発令する避難情報の解説を行うとともに、ラジオを通じて洪水時に自らの命を守る行動を取って頂けるように災害に対する心がまえなどを伝えた。

要配慮者施設における避難確保計画の実効性を高めるために、民間企業の有する技術（SUZUKIのセニアカー）を活用した避難訓練（現地実証）をSUZUKI（株）、デイサービスセンター砂丘荘のご協力により開催。

【訓練概要】

- 日 時：令和5年11月13日（月） 14:00～15:00
- 場 所：デイサービスセンター砂丘荘
- 主 催：遠州流域治水協議会
静岡県西部・中東遠地域大規模氾濫減災協議会
- 参加者：デイサービスセンター砂丘荘（職員及びセニアカー搭乗者）
スズキ株式会社
国土交通省浜松河川国道事務所
日本工営株式会社
- 見学者：協議会構成員（浜松市・湖西市・静岡県・静岡地方気象台）
- 訓練趣旨：セニアカーを用いた避難訓練を行い、セニアカーの有効性や課題を把握する
- 訓練内容：セニアカーを用いた避難ルートの試走
- 避難ルート：日常利用施設から併設する宿泊施設（避難先）への水平避難（砂丘荘→第2砂丘寮（約80m））

●誘導員配置箇所



図1 セニアカー



図2 避難訓練 概要平面図

【訓練結果】

- 70～90歳代の「要支援1」、「要介護1」の計3名に、日常利用施設から併設する宿泊施設（避難先）への水平避難を実施。
- セニアカーを活用することで、徒歩避難と比較して、大幅に避難時間を短縮出来ることを確認。

避難訓練の様子



表1 避難時間の短縮効果

避難時間	
徒歩	約 11 分
	↓ 最大約 9 分 短縮
セニアカー	約 2 分

【訓練結果を踏まえた振り返り】

- 早めの避難行動時に、セニアカーの活用が期待できる。
- 降雨時の移動には懸念があるが、屋根を付ける等の対策が必要。
- 訓練時は比較的風が強かったが、不便がないように感じた。

【今後の展望】

セニアカーの優位性を確認できた一方で、要支援1～要介護5（状態区分）に応じた適用性や、スロープを運転するための運転スキル習得などの課題が確認された。今後、セニアカーの普段使いに加えて、避難訓練メニューへの追加、習熟度向上に繋がるプログラム作成などにより避難確保計画見直しや避難訓練を継続し、高齢者の避難行動に向けた取組を推進していく。